



燃ゆる感動 **かごしま国体**

特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023

水泳競技
オープンウォータースイミング

監督者会議



【日時】 2023年9月17日（日）11：30～

（選手番号抽選会終了後）

【会場】 屋久島離島開発総合センター（ホール）



特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
水泳競技 オープンウォータースイミング 監督者会議次第

司会進行：山本 真樹

前田 智宏

1. あいさつ (公財) 日本水泳連盟 常務理事 村松さやか
2. 歓迎あいさつ 鹿児島県屋久島町 町 長 荒木 耕治
3. 歓迎あいさつ (一社) 鹿児島県水泳連盟 会 長 若松 博文
4. 大会概要等について (公財) 日本水泳連盟
オープンウォータースイミング 委 員 守谷 雅之
5. 質疑応答



本日の配布資料について

① 監督者会議資料

② 資料袋 (サコッシュ)

※記念品、プログラム等同封



③ ランドリーバック・シューズ袋 (大会当日用)

④ 健康チェックシート・選手受付表

※明日の「選手受付」の際に提出してください。

⑤ AD カード

会議終了後に選手番号入りのADカードを「受付」にて配布
しますので必ずお受け取り下さい。

※ナンバリングシールは、大会当日、選手受付所で配布します。

⑥ ドーピングコントロール資料 (1枚)

水泳競技 オープンウォータースイミング 監督者会議資料

1 大会概要について

- (1) 本大会のレースは、2023年9月18日（月）に屋久島町一湊海水浴場特設会場で実施する。
- (2) 距離は5 kmとする。
- (3) 参加者数は、男子44名、女子44名である。
- (4) スタート時間は、女子10:30、男子13:00とする。
- (5) 荒天により予定どおりの競技実施が困難な場合は、競技開始時間・コース・距離を変更して行う。安全管理上、海での競技実施が不可能な場合は中止とする。
- (6) 9月18日（月）午前7:00に会場にて競技会の開催判断を行い、午前7:30までにお知らせする。
お知らせの方法は、屋久島町公式ホームページ <http://www.town.yakushima.kagoshima.jp> に掲載するとともに、町の防災無線にて放送する。また、グループLINEに登録した方には、LINEで情報提供する。

2 競技について

- (1) 本大会は、(公財)日本水泳連盟OWS競技規則に則り実施する。(一部、ローカルルールを適用する)。
- (2) 水着の取り扱いは、(公財)日本水泳連盟「国内競技会での競泳水着の取扱いについて」に準ずる。
また、世界水泳連盟公認のOWS用水着の使用を認める。
- (3) コースレイアウトは、四角形の周回コースを、反時計回りで5周回する。(別紙、コース図参照)
- (4) スタートはビーチより選手番号順に整列し、水中スタートとする。整列は招集員の指示に従うこと。
- (5) スタート時はスタートロープを後ろ手に持ち待機し、選手のスタート体制が整ったところで、審判がホイッスルを鳴らし旗を肩の高さまで下げ、出発合図員が「Take Your Marks」と言い、スタートフーンを鳴らす(同時に旗をおろす。)ので、同時にスタートする。
- (6) 第4ブイと第1ブイの間にラップゲートを設置する。選手は、スタート時を除き、周回毎に必ずラップゲートを通過しなければならない。
- (7) 第4ブイ周辺でトップの泳者に対して周回数を表示する。周回の表示については第4ブイ近くの岩場の先端部より周回確認員が表示する。トップが4周を終えたところで振鈴で合図をする。
- (8) フィニッシュは、2本のコースロープの先端に取り付けてあるブイとブイの間を通り、フィニッシュゲートのタッチボードへ確実に手のひらでタッチをする。ボードにタッチせず通過した場合は、フィニッシュと認めない。
また、コースロープをくぐる行為は違反となる。必ず、ブイまで戻り、ブイとブイの間を通ること。
- (9) レース時にトランスポンダーを紛失しても、1個装着されていればフィニッシュを認める。
(紛失は、競技者の実費負担とする。)
- (10) 緊急中止について、以下のとおり定める。
・緊急中止の際は、審判長から合図(赤色旗・黄色旗を振るとともに、拡声器や笛で知らせる。)を送る。合

図があったら、一番近くのブイまで泳ぐこと。その後は、ライフセーバーの指示に従うこと。

(合図は、審判艇に赤黄旗を同時掲揚するとともに、フォーン及びホイッスルで長音を複数回鳴らす。)

- ・緊急中止の場合でも、退水時に荷物受け取りテントでトランスポンダーを返却し、ADカードを受け取る。
- ・緊急中止となり、かつ再レースが不可な場合は、直前のラップゲートの順位を最終順位とする。

(11) レース当日のコンディション（気象・海象）により、上記内容を変更することがある。

(12) 本大会は、SEIKOのタイムシステムをもって公式計時とする。なお、リザルトについては速報板に掲示する。大会終了後、屋久島町HPにて掲載する。また、受付テントで各県に配布する。

(13) 本大会は、上訴審判団を設置する。

3 注意・連絡事項

(1) 競技当日のスケジュール（2023年9月18日（月））

内 容	女 子	男 子	備 考
選手受付 第一選手招集 	9:10~ "	11:00~ "	ADカードの提示 健康チェックシート、選手受付表の提出 手足爪・水着・スイムキャップ・ゴーグル・装飾品等の検査（持参でも可） ナンバリング貼付け・トランスポンダーの配布
ウォーミングアップ	9:10 (~10:00)	11:50 (~12:40)	男子のウォーミングアップ開始時刻は、女子の競技進捗次第で早めることがある。（通告で確認する）
第二選手招集 	10:10	12:50	選手番号順に整列し、椅子に座って待機。 点呼・ナンバリング・トランスポンダー確認後、審判長による最終ブリーフィングを実施する。 (ADカード・荷物袋・レース準備品持参)
開始式／選手紹介	10:20	12:55	開始式後、選手は座ったまま待機し、選手紹介と共にスタート地点に移動する。
スタート	10:30	13:00	ADカード回収
表彰式	14:10~（予定）		男女1~3位の選手を表彰。

(2) 選手動線について

① 消毒・検温

- ・選手受付の際、消毒を実施する。
- ・全国的なコロナ感染症の発生状況次第で、検温を行う場合がある。



② 選手・監督・コーチ受付

- ・ADカードを持参の上、選手番号、都道府県名、氏名を申告する。
選手は、健康チェックシート及び選手受付表を提出する。

③ 第一招集

- ・ A Dカードを持参の上、爪・水着・スイムキャップ、ゴーグル、装着品等のチェックを受ける。(装着品は持参でも可。公認マークが見えるようにする。) 1つでも漏れがある場合は、修正のうえ、もう一度チェックを必ず受ける。
- ・ ナンバリングシールを受け取り、指定された場所でナンバリングシールを両手・両腕・両肩甲骨に貼り付ける。(貼付の際は、競技役員が補助する。)。
※ワセリン等は、ナンバリング貼付け後に塗ること。
- ・ 上記チェックがすべて完了後、トランスポンダーを受け取る。

④ ウォーミングアップ・クールダウン

- ・ ウォーミングアップ・クールダウン時には A Dカードを競技役員に提出し、退水後 A Dカードを受取る。
- ・ ウォーミングアップ場所は、ホワイトボードの記載を確認し、ライフセーバーの指示に従うこと。また、フィニッシュゲート付近での練習も可能となる。
- ・ 海上では、競技役員、ライフセーバーの指示に必ず従うとともに、他の泳者を確認しながら、譲り合って使用する。
- ・ ウォーミングアップ終了後、ナンバリングが取れていた場合は、第一招集に行って早めに修正してもらう。
- ・ クールダウンについては、女子は男子のウォーミングアップの時間内に、男子は閉会式終了後、10 分間エリアを開放するので、その時間内で行うこと。

⑤ 第二招集・開始式

- ・ 女子選手 10 : 10、男子選手 12 : 50 (時間厳守) には第二招集所へ行き、番号順に椅子に座って待機整列する。ナンバリングが取れている場合は、招集員に至急申し出る。
集合完了次第、審判長による最終ブリーフィングを行う。
- ・ 開始式後、選手は座ったまま待機し、選手紹介と共にスタート地点に移動する。
(スタート地点に移動する際、A Dカード・履物及び履物袋(支給品)は所持して移動する。なお、レースに必要な物品以外の荷物は荷物袋(支給品)にすべて収納し、椅子の上に置く。)
※A Dカード、履物及び履物袋・レースに必要な物品は、スタート地点近くの回収所に預ける。

⑥ 退水後

- ・ 全ての競技者は、救護所と記録本部の間を通過して荷物受け取りテントに向かうこと。
- ・ 荷物受け取りテントにおいて、「①トランスポンダーの返却⇒②A Dカード受け取り⇒③J A D A⇒④荷物の受け取り」の順序ですべてを行う。
- ・ シャワー室、更衣室への移動は競技役員の指示に従うこと。



(3) 表彰について

- ① 表彰は、男女それぞれ1位から3位に賞状・記念品を授与し表彰する。

- ② 男女とも4位から8位に賞状を授与する。賞状の受け渡しはステージ横のテントで行うので、該当選手は参集する。なお、賞状の受け渡しは表彰式終了後とする。



(4) 会場使用について

- ① 監督者会議終了後、選手番号を貼付したADカードを配布する。競技会場にいるときは常時首から下げておくこと。万一紛失した場合は、屋久島町実行委員会本部において再発行の手続きを行うこと。
- ② 撮影許可証の発行はしない。撮影時には以下の注意事項を守ること。

【注意事項】

ア フラッシュを使用しての撮影は厳禁とする。

イ 不審な撮影行為は、場内司令員・警備係が事情聴取をする場合がある。場合によっては警察に連絡することもある。不審な撮影行為を見かけたら、近くの競技役員に連絡すること。

ウ 個人情報保護法に抵触しないよう十分に注意して撮影すること。



(5) 選手控え場所について

- ① 会場の選手控えテントはエリアを指定する。選手控え場所の敷物等は整理整頓し、ごみの処理を徹底すること。また、マッサージ専用のテントも設置する。マッサージ台は持ち込み可とする。
- ② お互い譲り合って使用すること。

(6) 更衣室・シャワー室について

- ① 更衣室・シャワー室は一湊海水浴場内の施設を使用すること。(男女各3つあり。)
- ② 常設の更衣室・シャワー室の大会当日の利用について、13:30までは男女施設とも女子専用とし、13:30からは男女施設とも男子専用とする。仮設の更衣室は、利用の制限はない。
- ③ 更衣室へのマッサージ台、敷物等の持ち込みは禁止する。
- ④ 更衣室のロッカー内の荷物は毎日持ち帰ること。置き荷物は忘れ物として扱い、全日程終了後処分する。



(7) 競技会場駐車場について

持込車両、レンタカー等での来会時は、指定された駐車場(第2駐車場を指定する。)を利用すること。駐車許可証の発行はない。場内では誘導員の指示に従い事故には十分注意すること。万一事故が発生した場合、大会本部はその責任を負わない。



(8) その他

- ① 該当する都道府県は、レース2時間前の水温チェックのご協力をお願いする。(通告にて連絡する。)
- ② 熱中症対策を十分に行うこと。(こまめな水分補給を行い、体に異常を感じたら無理をしない。)
- ③ 競技会場は、9月になるとクラゲの発生があるので入水前に対策を講じること。(クラゲを避けるクリーム等を身体に塗る場合は、ナンバリング貼付け後に塗ること。)

- ④ 持ち物や貴重品は各都道府県で管理し、盗難には十分に注意すること。万一盗難が発生した場合でも、大会本部はその責任を一切負わない。
- ⑤ 競技会場で発生するカン・ビン・ペットボトル等については、種類別のごみ箱を用意する。分別して処理すること。また、乾電池等の対象外のごみは各自で必ず持ち帰ること。



■ 国体OWS競技に初めて出場する方へ

- ・スタート後が一番混雑するので、慌てず冷静に自分のペースを作り、極力他者との接触を避ける泳ぎを心がけること。
- ・終始、周りをよく見て、前方確認も行い、コースアウトしないようにブイを確認して泳ぐこと。
- ・フェアに競技すること。(水中の格闘技ではない。)
- ・フィニッシュはタッチボードにしっかりとタッチすること。
- ・レース前後にしっかりと水分補給をすること。
- ・手足のしびれ、体が動かない、呼吸が苦しいなど、体に異常を感じたら無理せずライフセーバーを呼んで「ヘルプサイン(立ち泳ぎ、または仰向けの姿勢で片腕をゆっくり大きく左右に振る。)」で助けを求め、棄権すること。

4 安全について

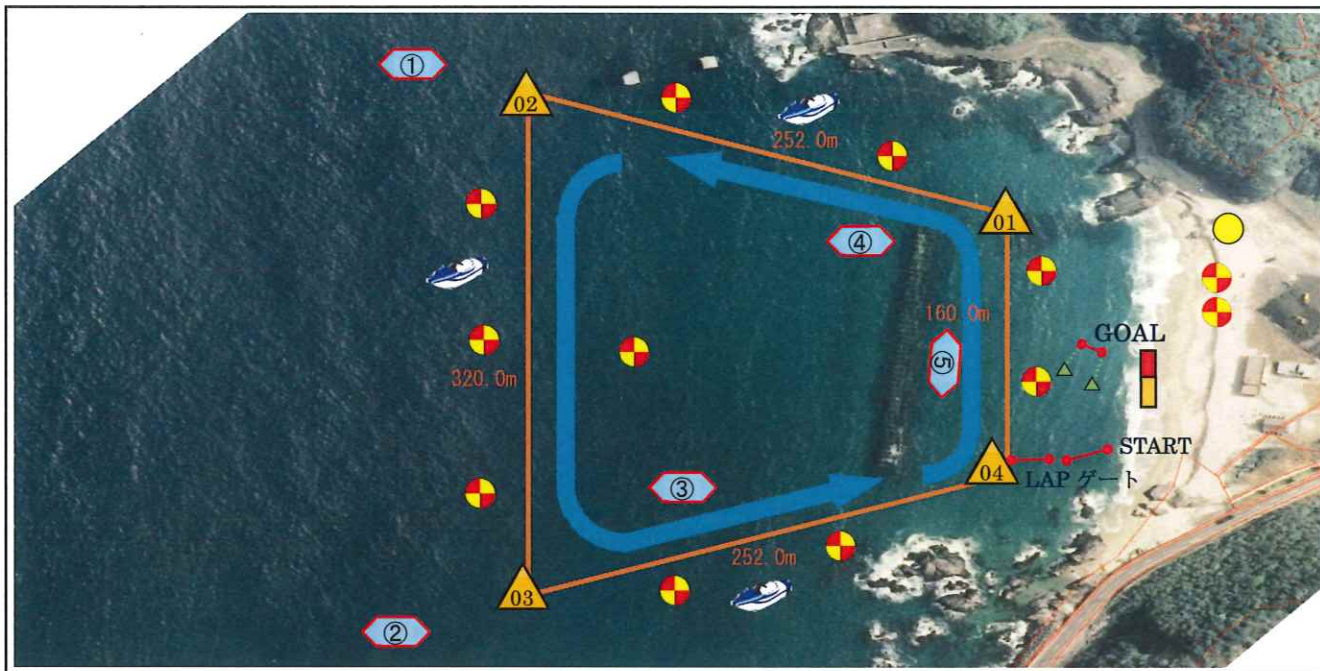
- (1) 「(公財)日本水泳連盟OWS競技に関する安全対策ガイドライン」に則り実施する。
- (2) 公益財団法人日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- (3) 棄権する場合は、大会本部に申し出ること。
- (4) 途中棄権する場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
 - ※近くのライフセーバーにヘルプサインで助けを求める。
 - ※退水後は、必ず救護テントで医師の診察を受けること。(ADカードも必ず受け取ること)
- (5) 競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正のアドバイスを行うことがある。

■ 雷・ゲリラ豪雨・地震等に関する対応

- ・レース中、会場近くで雷鳴や稲妻を確認した場合は、審判長と本部で協議し、レースを中断する。
- ・審判長からの退水指示で素早く選手を水から上げ、人員の点呼を行う。
- ・雷発生時は、競技役員・ライフセーバーが会場内の鉄筋コンクリート造の建物に誘導する。
- ・天気が回復するようであれば、審判長の判断で競技を再開する。
- ・地震・津波に関する避難については、別添の図面のとおり、競技役員が誘導し、避難を促す。



【コース図】



- 凡例
- 救護テント
 - 🚑 ライフセーバー15名(移動観察)
(内3名ジェット)
 - ① ② ターンジャッジ艇
 - ▲ ターンブイ
 - 🚑 救急車
 - 🚤 マリンジェット
 - ③ ④ ⑤ 審判艇 ※緊急時には⑤が潜水士を搬送
 - 👤 潜水士(待機)

【会場図 (選手導線確認用)】





競技会場からの避難経路図
 (想定災害: 地震・津波)



日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

ホームページ掲載資料一覧 (2023年1月1日から2023年12月31日まで有効)

注意喚起

「2022年禁止表 糖質コルチコイド」について



2022年からの糖質コルチコイドの局所注射が禁止になりました。変更点とウォッシュアウト期間（体内に吸収された薬物が排出される期間）について詳しく載っています。

DNS「アイアンSP」に関する注意喚起



国産サプリメントに筋肉増強剤の混入が起きた事例の紹介です。国産製品でも禁止物質が混入することがあるため、サプリメント使用前には十分に検討して下さい。

「特定地域で生産された食肉に関する注意喚起



中国・メキシコ等では食肉の肥育で禁止物質が使用されていることがあります。食肉から禁止物質を体内に取り込んでしまうこともあるため、海外渡航時には注意が必要です。

海外製サプリメントANAVITEに関する注意喚起



海外製サプリメントの禁止物質混入に関する注意喚起の資料です。過去、同じ製品で違反が2度起きています。サプリメント使用前には十分に検討して下さい。

糖質コルチコイドの競技会時の口腔内局所使用の禁止について



主に口内炎に対する軟膏や貼付剤の使用についての注意点で、ステロイド含有製剤が使用禁止になりました。禁止物質を含む市販薬もあるので要注意です。

全般

競技者アンチ・ドーピングガイド



水泳競技者が知っておいてほしいアンチ・ドーピングについての内容です。競技者をサポートするスタッフの方も一読お願いいたします。

競技者TUEガイド



治療使用特例(TUE)の申請方法は競技者のレベルによって異なります。競技会の直前に慌てて申請することのないように、事前に確認しておいて下さい。

担当医師へのお願い



競技者の担当医師に知っておいてもらいたい内容についてです。競技者は医療機関受診時に本資料を持参し、担当医に提示することをお勧めします。

薬剤師会ドーピング防止・ホットライン



薬剤師会の薬の相談窓口の連絡先です。日本水泳連盟の「薬の相談窓口」以外の問い合わせ先を知っておくのも良いでしょう。

薬の相談窓口集計結果



2021年に日本水泳連盟HP[薬の相談窓口]で受けた問い合わせ件数とその内訳の報告です。250品目の問い合わせがあり、約1割に禁止物質が含まれていました。

薬やサプリメント等について

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない一般用医薬品（市販の薬）の例が掲載されています。他にも使える薬がありますので、不明な点は薬の相談窓口にお問い合わせください。

女性アスリートおよび関係者の皆様へ



月経痛の影響で、普段の練習や大会で本来のパフォーマンスを発揮出来なかった経験はありませんか？月経痛に対するお薬の例が紹介されています。

花粉症・鼻炎の薬について



花粉症や鼻炎の影響で、本来のパフォーマンスを発揮出来ない選手は必見です。ドーピング違反にならず、眠気の副作用が少ないとされるお薬の例を紹介しています。

ぜんそくの薬を使う時の注意点



ぜんそくの治療薬には吸入薬、飲み薬、貼り薬などがありますが、禁止物質を含んでいるものが多数あります。ぜんそくの治療を受ける方は、必ず確認してください。

サプリメント、栄養ドリンク、エナジードリンクについて



サプリメントやエナジードリンクには禁止物質が含まれていることがあります。意図せずにドーピングになることがあるため注意しましょう。



[薬の相談窓口]も積極的にご活用ください。薬の写真もアップロードできるようになりました。



トランスポンダーの装着方法

1 ベルトバンドを外す。トランスポンダーは2個で1セットです。

ベルトバンドを外し、左右の手首に装着します。※右手、左手用はありません。左右どちらからでも装着可能です。



2 トランスポンダーを装着します。

競技中に手首からはずれないようにするため、腕にしっかり密着させてください。
ビニールテープなどで固定することを推奨いたします。



※バンドのナンバーと Bib 番号が同じかご確認ください。

※バンドのボタンは1度止めたら外すことはできません。

【注意】

※競技中に計測チップを紛失した場合は、以下のご対応をお願いいたします。

・1個紛失した場合、そのままレースを継続して問題ありません。

・両方紛失の場合、レフリー艇またはライフセーバーに申し出るようお願いいたします。

チップを再度配布いたしますので。装着し、競技を再開してください。

※競技終了後、チップは必ず返却をお願いいたします。